

問1 7世紀から8世紀にかけて、日本が天皇を中心とした法に基づく国家体制（律令国家）を整備していった過程について、出来事を時系列に沿って正しく並べたものはどれですか。 （2019年 和歌山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 藤原京への遷都 →
十七条の憲法の制定 →
公地公民の方針の提示 →
近江大津宮への遷都 | 2. 十七条の憲法の制定 →
近江大津宮への遷都 →
藤原京への遷都 →
公地公民の方針の提示 | 3. 十七条の憲法の制定 →
公地公民の方針の提示 →
近江大津宮への遷都 →
藤原京への遷都 | 4. 公地公民の方針の提示 →
十七条の憲法の制定 →
藤原京への遷都 →
近江大津宮への遷都 |
|--|--|--|--|

問2 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）が制定したとされる、政治を行う役人（官吏）の心得や道徳を示した法規を何といいますか。 （2026年 宮崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|---------|-----------|
| 1. 公家諸法度 | 2. 御成敗式目 | 3. 大宝律令 | 4. 十七条の憲法 |
|----------|----------|---------|-----------|

問3 飛鳥時代、日本は百済などの朝鮮半島の国々から仏教や漢字、儒教といった大陸の文化を取り入れました。百済から伝えられた仏教が、その後の日本の政治や文化に与えた影響についての説明として最も適切なものを選びなさい。 （2023年 三重県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. キリスト教の伝来に対抗するため、幕府が寺請制度を整えて仏教を保護した。 | 2. 聖徳太子（厩戸王）が仏教を厚く敬い、法隆寺などの寺院を建立して国家の安定を図った。 | 3. 平城京に大きな東大寺を建立し、全国に国分寺や国分尼寺を作ることによって地方を治めた。 | 4. 遣唐使によってもたらされた禅宗が、鎌倉時代の武士の精神的支えとなった。 |
|--|--|---|--|

問4 壬申の乱という大規模な内乱を経て、大海人皇子（天武天皇）が自らの権威を背景に構築を目指した、法に基づく国家体制を何と呼びますか。 （2025年 愛知県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 封建国家 | 2. 律令国家 | 3. 幕藩体制 | 4. 摂関政治 |
|---------|---------|---------|---------|

問5 7世紀初め、聖徳太子（厩戸王）は中国の王朝との対等な外交を求め、進んだ制度や文化を取り入れるために使節を派遣しました。この使節の名称と、代表として派遣された人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2026年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------|------------------|--------------------|---------------------|
| 1. 遣明使として派遣された足利義満 | 2. 遣唐使として派遣された鑑真 | 3. 遣隋使として派遣された小野妹子 | 4. 遣唐使として派遣された阿倍仲麻呂 |
|--------------------|------------------|--------------------|---------------------|

問6 6世紀後半から7世紀前半にかけて、朝鮮半島や中国大陆から伝わった仏教の影響を強く受け、飛鳥地方を中心に花開いた日本最初の本格的な仏教文化を何というか答えなさい。 （2020年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛鳥文化 | 2. 国風文化 | 3. 禅宗文化 | 4. 天平文化 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 古代の日本において、唐の制度を参考に「律令」が制定された主な目的として、最も適切な説明はどれですか。当時の地方行政の状況を伝える多胡碑などの記録を踏まえて考えなさい。 （2016年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| 1. 仏教の教えを広めることで、人々の不満を抑えて社会の安定を図るため | 2. 武士の勢力を抑えるために、有力な貴族に地方の土地を自由に管理させるため | 3. 天皇を頂点とし、法に基づいた行政区画の整備を通じて中央集権的な統治を行うため | 4. 外国との貿易を促進するために、港を中心とした新しい都市を建設するため |
|-------------------------------------|--|---|---------------------------------------|

問8 聖徳太子が「十七条の憲法」の制定や「冠位十二階」の制度を導入した背景にある、当時の政治的な狙いとして最も適切なものはどれですか。 （2017年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 1. 特定の豪族が代々高い位を独占する仕組みを強化し、政権を安定させるため | 2. 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整えるため | 3. 仏教の影響を排除し、神道に基づいた古くからの統治方法を復活させるため | 4. 農民に土地を分け与える班田収授法を施行するための、全国的な戸籍を作成するため |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---|

問9 飛鳥時代の天武天皇の時代にあたる7世紀後半につくられたことが判明し、708年に発行された和同開珎よりも古い、現時点で日本最古とされる銅銭の名称を次の中から選びなさい。 （2018年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 富本銭 | 2. 和同開珎 | 3. 永楽通宝 | 4. 寛永通宝 |
|--------|---------|---------|---------|

問10 660年に唐と新羅が連合して百済を滅ぼし、その3年後に日本が百済復興を助けようとして唐・新羅連合軍に大敗した「白村江の戦い」という歴史的背景を踏まえ、日本が九州北部に「防人」を配置した直接的な目的として最も適切なものを選びなさい。 （2020年 広島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 1. 九州地方で頻発していた政府への反乱を武力で鎮圧し、国内を安定させるため | 2. 大陸の先進的な文化を取り入れるため、唐からの使者を九州で手厚く迎えるため | 3. 唐や新羅の軍勢が日本列島へ攻め込んでくる事態に備え、国防を固めるため | 4. 九州北部の広大な未開墾地を兵士に耕作させ、大陸への輸出用穀物を生産するため |
|--|---|---------------------------------------|--|

問11 日本の歴史上の人物とその活躍した時代について述べた文として、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 （2021年 宮崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 豊臣秀吉は江戸時代に全国を統一し、太閤検地や刀狩を行った。 | 2. 鑑真是平安時代に唐から日本に渡り、正しい仏教の教えを伝えた。 | 3. 聖徳太子は飛鳥時代に摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。 | 4. 平清盛は鎌倉時代に武士として初めて太政大臣となり、日宋貿易を進めた。 |
|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|

問12 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたと伝えられ、現存する世界最古の木造建築物群を持つ、奈良県に位置する寺院はどれですか。 （2024年 岐阜県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 興福寺 | 2. 法隆寺 | 3. 延暦寺 | 4. 東大寺 |
|--------|--------|--------|--------|

問13 飛鳥文化が栄えた時代の歴史的な出来事について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2019年 滋賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 西暦607年に小野妹子が遣隋使として派遣され、大陸の優れた制度や文化が持ち込まれた。 | 2. 聖武天皇が国ごとに国分寺を建て、奈良に東大寺の大仏を造立させた。 | 3. 空海や最澄が唐から新しい仏教を伝え、比叡山や高野山に寺院が開かれた。 | 4. 鑑真が来日して唐招提寺を建立し、仏教の正しい戒律が日本に伝えられた。 |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|

問14 日本の歴史において、古代の律令国家の形成期と、近代の明治維新期の両方で共通して見られた「中央集権体制」の構築に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 （2024年 福井県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。 | 2. 権限を地方の役所に分散させることで、地域の事情に合わせた柔軟な政治運営を行おうとした。 | 3. 地方の有力者が所有する私有地を認め、その土地の管理を各地域に任せることで国家の安定を図った。 | 4. 武士や貴族が土地を世襲的に支配する権利を強化し、身分制度に基づく統治を徹底した。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都	聖徳太子が役人の心得を示した十七条の憲法（604年）を制定した後、中大兄皇子らによる大化の改新（646年）で公地公民の原則が示されました。その後、天智天皇としての近江大津宮への遷都（667年）を経て、694年に持統天皇によって中国の都にならった本格的な都城である藤原京へと移りました。藤原京が大津宮よりも後の時期である点に注意が必要です。
問2	答え 4 十七条の憲法	聖徳太子が定めた官吏の心得は十七条の憲法です。和の精神や仏教の尊重、天皇の命令に従うことなどが示されています。大宝律令は飛鳥時代後半に制定された本格的な律令であり、御成敗式目は鎌倉時代に武士のために作られた法規となります。
問3	答え 2 聖徳太子（厩戸王）が仏教を厚く敬い、法隆寺などの寺院を建立して国家の安定を図った。	百済から伝来した仏教は、有力豪族である蘇我氏によって受け入れられ、のちに聖徳太子の政治に取り入れられました。聖徳太子は「三宝を敬え」という内容を含む十七条の憲法を制定し、法隆寺などの寺院を建てることで、仏教を基盤とした国家づくりを進めました。これが日本最初の仏教文化である飛鳥文化の発展につながりました。
問4	答え 2 律令国家	天武天皇は、内乱を勝ち抜いたことで得た強大な権力を wield、官僚組織の整備や戸籍の作成、法典（律令）の編纂などを進めました。このように、天皇を頂点として法によって全国を統治する仕組みを律令国家と呼びます。この流れは、次の持統天皇や大宝律令の完成へと引き継がれていきました。
問5	答え 3 遣隋使として派遣された小野妹子	聖徳太子は、推古天皇の摂政として政治を行い、中国の「隋」に「遣隋使」を派遣しました。その代表として知られるのが小野妹子です。鑑真は唐の僧侶であり、阿倍仲麻呂は遣唐使として唐に渡った人物です。また、足利義満は室町時代の人物であり、時代が異なります。
問6	答え 1 飛鳥文化	朝鮮半島（百済など）から仏教が伝来し、聖徳太子や蘇我氏の保護を受けて発展した日本最古の仏教文化です。法隆寺の西院伽藍や、広隆寺の弥勒菩薩像などにその特徴を見ることができます。同時期の中国（南北朝・隋）や朝鮮半島の文化の影響を色濃く反映しているのが特徴です。
問7	答え 3 天皇を頂点とし、法に基づいた行政区画の整備を通じて中央集権的な統治を行うため	律令の整備は、それまでの豪族による土地・人民の支配を改め、天皇を中心とする国家が全国を直接支配すること（中央集権化）を目的としていました。多胡碑に記された「郡」の設置も、この法律に基づいて全国を組織的に管理しようとする政策の一環です。これにより、税の徴収や徴兵などが組織的に行えるようになりました。
問8	答え 2 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整えるため	当時は蘇我氏などの有力豪族が政治の実権をめぐって対立していました。聖徳太子は、家柄ではなく才能や功績に応じて位を与える「冠位十二階」や、役人の心得を説く「十七条の憲法」を定めることで、豪族中心の政治から天皇を中心とするまとまりのある国づくりを目指しました。
問9	答え 1 富本銭	長らく708年発行の和同開珎が日本最古の貨幣とされてきましたが、1990年代に奈良県の飛鳥池遺跡から大量の銅銭や鋳型が発見されたことにより、それより古い7世紀後半にはすでにこの貨幣が製造されていたことが実証されました。これにより、日本貨幣史の定説が塗り替えられました。
問10	答え 3 唐や新羅の軍勢が日本列島へ攻め込んでくる事態に備え、国防を固めるため	660年の百済滅亡と、663年の白村江の戦いにおける日本の大敗により、当時の日本（倭国）は唐や新羅による報復的な侵攻を受ける可能性を非常に危惧しました。このため、天智天皇は大宰府などがある九州北部の守りを固めるために「防人」を配置し、あわせて水城（みづき）と呼ばれる堤防や、山城などの防御施設を築いて、国家存亡の危機に備える体制を整えました。
問11	答え 3 聖徳太子は飛鳥時代に摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。	聖徳太子は飛鳥時代に推古天皇の摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を制定しました。鑑真が来日したのは奈良時代です。平清盛が太政大臣となったのは平安時代末期となります。豊臣秀吉が全国を統一したのは安土桃山時代です。
問12	答え 2 法隆寺	聖徳太子が建立したと伝えられる法隆寺は、1993年に「法隆寺地域の仏教建造物」として、日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録されました。その西院伽藍は、7世紀後半から8世紀初めにかけて再建されたものと考えられていますが、世界で最も古い木造建築として非常に高い歴史的価値を持っています。
問13	答え 1 西暦607年に小野妹子が遣隋使として派遣され、大陸の優れた制度や文化が持ち込まれた。	飛鳥文化の背景には、遣隋使の派遣によって中国（隋）の進んだ文化や仏教が直接導入されたことがあります。鑑真や聖武天皇の事績は8世紀の奈良時代（天平文化）、空海や最澄の活動は9世紀初めの平安時代（弘仁・貞観文化）の出来事であり、飛鳥文化とは時期が異なります。
問14	答え 1 それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。	律令国家における「公地公民」の原則と、明治新政府による「版籍奉還」や「廃藩置県」は、どちらも土地と人民の支配権を中央へ集中させることを目的とした政策です。古代では豪族、近代では大名という、それまでの地方支配者の権利を否定し、中央政府が直接的に国民を統治し、税を徴収する仕組み（中央集権体制）を整えようとした点が共通しています。

問1 7世紀初め、聖徳太子が中国の隋に小野妹子らを派遣した外交政策の目的と、その内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2026年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 蘇我氏が大陸との貿易を独占し、天皇を凌ぐ経済力を背景に権力を掌握するための私的な使節とするため | 2. 中国と対等な立場での外交を目指し、大陸の進んだ制度や文化を取り入れて天皇中心の国づくりに役立てるため。 | 3. 隋の皇帝から日本国王としての称号を得ることで、朝鮮半島での軍事的な優位性を確立するため。 | 4. 日本が中国の属国であることを認め、毎年の朝貢を約束することで日本国内の反乱を抑えるため。 |
|--|--|---|---|

問2 飛鳥時代において、中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏を倒したことを契機に、天皇中心の国づくりを目指して始められた政治改革の名称を、当時の日本で初めて使われた年号を用いて何と呼びますか。

(2019年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| 1. 建武の新政 | 2. 大化の改新 | 3. 明治維新 | 4. 承久の乱 |
|----------|----------|---------|---------|

問3 古代日本が遣唐使を派遣し、唐の文化や制度を積極的に取り入れようとした背景や理由として、最も適切なものはどれか。

(2018年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 唐との間で大規模な戦争が続いていたため、和睦の条件として唐の文化を受け入れるよう要求されたため。 | 2. 唐の優れた制度を学ぶことで、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を強化しようと考えたため。 | 3. 唐から大量の宋銭を輸入し、日本国内の貨幣経済を急速に発展させる必要があったため。 | 4. 唐がモンゴル帝国に滅ぼされそうになっていたため、軍事支援を行う見返りに領土を譲り受けるため。 |
|---|--|---|---|

問4 894年に菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されましたが、その背景として当時の中国や東アジアの情勢を正しく説明しているものを選びなさい。

(2023年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られにくくなったため | 2. モンゴル帝国の勢力が拡大し、日本に対して服属を求める圧力が強まったため | 3. 平氏による日宋貿易が盛んになり、公的な使節を送らなくても物資が十分に入るようになったため | 4. 中国で仏教が弾圧され、日本が求める最新の仏教文化を学ぶことが不可能になったため |
|---|--|---|--|

問5 飛鳥時代の文化の特徴を記した資料において、その特色は「国際色豊かである」と説明されます。このように評される理由として、当時の寺院建築や仏像に見られる具体的な特徴を述べたものとして正しいものはどれですか。

(2024年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 中国の南北朝時代の様式だけでなく、インドや西アジア、さらには古代ギリシャに起源を持つ建築様式の影響が、寺院の柱などに見られるため。 | 2. 遣唐使によって唐の最新の文化が都である平城京に直接もたらされ、国際的な正倉院宝物などが数多く作られたため。 | 3. 禅宗の影響を受けた武士たちが、中国の宋や元の文化を取り入れ、水墨画や茶の湯などの簡素な美意識を確立したため。 | 4. 遣唐使が廃止されたことで、それまで伝わっていた大陸の文化が日本の風土に合わせて消化され、独自の「かな文字」などが生まれたため。 |
|--|--|---|--|

問6 天智天皇の死後に発生した大規模な後継者争いである壬申の乱に勝利し、即位したのち、天皇を中心とする強力な中央集権国家の体制を整えた人物を次の中から選びなさい。

(2025年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 推古天皇 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 法隆寺に代表される、飛鳥時代の文化の特徴を説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。

(2020年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 禅宗の影響を受け、水墨画や書院造などが発展した東山文化 | 2. 大陸の進んだ技術や仏教の影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化 | 3. 東大寺の大仏に代表される、鎮護国家の思想に基づいた天平文化 | 4. 遣唐使の廃止に伴い、日本の風土や生活に合わせた独自の国風文化 |
|--------------------------------|--|----------------------------------|-----------------------------------|

問8 7世紀半ば、朝鮮半島の北部に高句麗、南東部に新羅、南西部に百済が位置していた時代、中大兄皇子らは、唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた「半島の南西部に位置する国」を復興させるために大軍を派遣しました。この出来事に関連する戦いの名称として正しいものはどれですか。

(2026年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|-------|-----------|
| 1. 白村江の戦い | 2. 刀伊の入寇 | 3. 元寇 | 4. 壇ノ浦の戦い |
|-----------|----------|-------|-----------|

問9 白村江の戦いでの敗北を受け、九州北部には水城や大野城といった防衛施設が次々と建設されました。これらの施設や海岸線の警備にあたるため、主に東国などの遠方から徴用され、九州へ派遣された兵士を何と呼びますか。

(2022年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 武士 | 2. 防人 | 3. 御家人 | 4. 健児 |
|-------|-------|--------|-------|

問10 645年から始まった大化の改新において示された、それまで有力な豪族が私有していた土地や人民を、国家（天皇）が直接支配する体制へと改める方針を何といいますか。

(2021年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 地租改正 | 2. 版籍奉還 | 3. 公地公民 | 4. 墾田永年私財法 |
|---------|---------|---------|------------|

問11 聖徳太子が定めた「十七条の憲法」には、仏教の「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」に加え、孔子の説いた儒教の思想に基づいた記述が多く見られます。当時の日本の政治状況において、儒教の考え方を法令に取り入れた主な目的として最も適切なものはどれですか。

(2018年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|
| 1. 庶民に対して厳しい罰則を設け、社会の犯罪を抑制するため | 2. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため | 3. 遣唐使の派遣を停止し、日本独自の文化を形成するため | 4. 武士の台頭に備え、軍事力の強化を図るための精神的支柱とするため |
|--------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|

問12 8世紀初頭に大宝律令が制定された目的や、その後の社会の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。

(2020年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 唐の優れた制度を取り入れることで、天皇を頂点とする官僚組織を整え、国家としての統治能力を高めるため。 | 2. 仏教を国教と定め、寺院が持つ強力な経済力や軍事力を国家の管理下に置くため。 | 3. 地方の豪族に世襲の特権を強く認めることで、中央政府への不満を抑え、内乱を防ぐため。 | 4. 武士の台頭に対抗するため、貴族が土地を私有することを法的に認め、都の経済を安定させるため。 |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 中国と対等な立場での外交を目指し、大陸の進んだ制度や文化を取り入れて天皇中心の国づくりに役立てるため。	聖徳太子は、当時の進んだ法制度や仏教文化を学ぶことで、日本を天皇を中心とした中央集権国家にする狙いがありました。小野妹子が持参した国書には「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す…」と記されており、これまでの朝貢外交とは異なる対等な外交を求めたことが特徴です。蘇我馬子は聖徳太子と協力して政治を行っていましたが、遣隋使は私的な使節ではなく国家の事業です。
問2	答え 2 大化の改新	645年に中大兄皇子（後の天智天皇）や中臣鎌足（後の藤原鎌足）が蘇我入鹿を倒した「乙巳の変」に始まる一連の政治改革です。日本で最初の元号である「大化」が定められ、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指しました。選択肢にある「建武の新政」は鎌倉幕府滅亡後の後醍醐天皇による改革、「明治維新」は江戸幕府滅亡後の近代化政策を指します。
問3	答え 2 唐の優れた制度を学ぶことで、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を強化しようと考えたため。	当時の日本は、豪族が割拠する状態から天皇を中心とする組織的な国家へと移行する過程にありました。唐の完成された律令制度や官僚制は、日本が強力な中央政府を作るための理想的なモデルであり、それを学ぶことが遣唐使の大きな目的でした。なお、宋銭の輸入は平安時代末期以降、モンゴル帝国による侵攻は鎌倉時代の出来事です。
問4	答え 1 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られなくなったため	9世紀後半の唐では、国内で反乱が相次ぐなど政治的な混乱が続いて衰退しており、日本が学ぶべき魅力が薄れていました。また、東シナ海を渡る航海は非常に命がけであったため、菅原道真是費用やリスクに対して得られるメリットが少ないと判断し、派遣の中止を提案しました。これがきっかけとなり、日本の独自の風土に合わせた国風文化が発展することになります。
問5	答え 1 中国の南北朝時代の様式だけでなく、インドや西アジア、さらには古代ギリシャに起源を持つ建築様式の影響が、寺院の柱などに見られるため。	飛鳥文化は、朝鮮半島や中国の南北朝時代の文化を直接の源流としていますが、その背景にはシルクロードを通じた東西交流があります。例えば法隆寺金堂の柱に見られる中央が膨らんだ「エンタシス」という技法は、古代ギリシャのパルテノン神殿などにも見られるものであり、当時の日本が遠く西方の文化圏とも間接的に繋がっていたことを示しています。
問6	答え 4 天武天皇	天武天皇は、大海人皇子として壬申の乱で大友皇子（天智天皇の子）を破って即位しました。即位後は、官僚組織の整備や「天皇」という称号、「日本」という国号の使用を開始するなど、律令国家としての基盤となる中央集権的な仕組みを強力に推進しました。
問7	答え 2 大陸の進んだ技術や仏教の影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化	飛鳥時代は、朝鮮半島や中国大陸から仏教とともに多くの技術者（渡来人）が来日し、建築、彫刻、工芸などの分野で大陸の影響を強く受けた文化が花開きました。法隆寺の西院伽藍に見られる柱の膨らみ（エンタシス）などは、遠くギリシャからシルクロードを経て伝わった文化の関連性が指摘されるなど、国際色豊かな側面も持っています。
問8	答え 1 白村江の戦い	中大兄皇子（のちの天智天皇）は、友好関係にあった百済を再興させるために朝鮮半島へ軍を送りました。しかし、663年に白村江で唐・新羅の連合軍に大敗を喫しました。この敗北により、日本は唐・新羅による日本への侵攻を警戒し、九州に水城を築いたり、対馬や九州に防人を配置したりするなど、防衛体制の強化を急ぐことになりました。
問9	答え 2 防人	唐や新羅の侵攻に備えるため、当時の政府は全国から兵士を徴用しましたが、特に九州北部の警備には「防人（さきもり）」が配置されました。彼らの多くは東国の農民から選ばれ、住み慣れた故郷を離れて厳しい任務に就きました。その苦しみや家族への思いを詠んだ歌は『万葉集』に「防人歌」として数多く収められています。
問10	答え 3 公地公民	大化の改新で出された「改新の詔（みことのり）」の第一条では、豪族が支配していた土地（田荘）や人民（部曲）を廃止し、すべてを国家のものとすることが宣言されました。これが公地公民の制であり、天皇を中心とする律令国家を目指すための重要な基盤となりました。
問11	答え 2 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため	十七条の憲法は、一般市民に向けた刑法ではなく、朝廷に仕える役人（当時の豪族）の政治的な心得を説いたものです。当時は豪族同士の争いが絶えなかったため、儒教が説く「君臣の義」や「礼」の概念を導入することで、天皇を頂点とした上下関係を明確にし、国家組織としてのまとまりを強化しようしました。このため、和を尊重することや、私心を捨てて公務に励むことなどが強調されています。
問12	答え 1 唐の優れた制度を取り入れることで、天皇を頂点とする官僚組織を整え、国家としての統治能力を高めるため。	律令国家の建設は、大陸の先進的な統治システムを導入することで、バラバラだった国内勢力をまとめ上げ、対外的な独立を保つ狙いがありました。二官八省の官僚機構や戸籍の作成、班田収授法の実施などは、すべて天皇に権力を集中させ、安定した徴税を行うための仕組みです。

- 問1 聖徳太子が行った対外政策について述べた文として、当時の外交姿勢を正しく説明しているものはどれか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 外国の文化を一切遮断するため、遣唐使の派遣を停止した | 2. 遣隋使を派遣し、中国の王朝と対等な立場での外交を求めた | 3. 隋の皇帝の臣下として認められるため、金印を授かるよう求めた | 4. 朝鮮半島での影響力を強めるため、百済と同盟して唐を攻撃した |
|-------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問2 6世紀半ば、朝鮮半島南西部に位置していた国から、日本へ釈迦如来像や経典が贈られたことで、仏教が公式に伝えられました。このとき、日本へ仏教を伝えた国の名称として正しいものを選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 百済 | 2. 渤海 | 3. 新羅 | 4. 高句麗 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問3 7世紀初め、推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）は、中国の高度な制度や文化を学ぶために小野妹子らを派遣しました。このとき、小野妹子らが派遣された、南北に分かれていた中国を約300年ぶりに統一した王朝の名前として正しいものを選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 隋 | 3. 秦 | 4. 漢 |
|------|------|------|------|
- 問4 飛鳥時代後半から奈良時代にかけての貨幣の歴史について、正しい説明を述べているものを次の中から選びなさい。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 和同開珎は、日本で初めて鑄造された銀銭として全国に普及した。 | 2. 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が鑄造された。 | 3. 当時の政府は、貨幣の流通を促進するために蓄銭叙位令を廃止した。 | 4. 富本銭は、平城京への遷都を記念して藤原不比等によって作られた。 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問5 飛鳥時代、法隆寺の建立など仏教を中心とした国づくりを進めた聖徳太子は、中国大陸を統一した王朝へ使節を派遣しました。この使節の名称と、その代表として派遣された人物の正しい組み合わせを選んでください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------------|---------------|-------------|
| 1. 遣隋使 — 鑑真 | 2. 遣隋使 — 小野妹子 | 3. 遣唐使 — 小野妹子 | 4. 遣唐使 — 鑑真 |
|-------------|---------------|---------------|-------------|
- 問6 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子は、中国を統一した隋の高度な制度や文化を取り入れるために使節を派遣しました。607年にこの使節（遣隋使）として中国へ渡った人物の名前として正しいものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|-------|
| 1. 小野妹子 | 2. 足利義満 | 3. 中大兄皇子 | 4. 鑑真 |
|---------|---------|----------|-------|
- 問7 5世紀ごろの朝鮮半島の情勢を説明した文として、当時の勢力図や外交関係に基づいた正しい記述はどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 朝鮮半島北部の新羅が、百済を圧倒して日本への文化伝播を独占した。 | 2. 朝鮮半島南西部の百済が、高句麗の南下に対抗するため大和政権と交流した。 | 3. 中国大陸の唐が、朝鮮半島南部の伽耶（任那）地域を直接支配した。 | 4. 高句麗が朝鮮半島の南東部を領有し、大和政権に仏教を伝えた。 |
|-------------------------------------|--|------------------------------------|----------------------------------|
- 問8 聖徳太子が定めた「十七条の憲法」には、仏教の「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」に加え、孔子の説いた儒教の思想に基づいた記述が多く見られます。当時の日本の政治状況において、儒教の考え方を法令に取り入れた主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------------|
| 1. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため | 2. 庶民に対して厳しい罰則を設け、社会の犯罪を抑制するため | 3. 遣隋使の派遣を停止し、日本独自の文化を形成するため | 4. 武士の台頭に備え、軍事力の強化を図るための精神的支柱とするため |
|---------------------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------------|
- 問9 6世紀後半から7世紀前半にかけて、朝鮮半島や中国大陸から伝わった仏教の影響を強く受け、飛鳥地方を中心に花開いた日本最初の本格的な仏教文化を何というか答えなさい。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 国風文化 | 2. 天平文化 | 3. 禅宗文化 | 4. 飛鳥文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 663年に朝鮮半島で行われた「白村江の戦い」において、日本（倭）が唐・新羅の連合軍に敗れた後の出来事として、歴史的背景に合致する説明はどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 敗戦の責任を問い、中大兄皇子が政治の表舞台から退き、大王による豪族連合政治が復活した | 2. 天皇中心の政治を諦め、有力豪族である蘇我氏に全ての政治権力を委ねる体制を整えた | 3. 大陸の影響を拒絶するため、遣唐使の派遣を完全に停止し、国風文化を育てる政策に転換した | 4. 唐や新羅の侵攻に備えて、九州に水城を築き、防人という兵士を配置して国防を強化した |
|---|--|---|---|
- 問11 飛鳥時代の外交と国防に関する記述として、白村江の戦いによる敗戦がその後の日本の政策に与えた影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 清の軍事力に対抗するため、欧米の技術を導入して近代的な軍隊を組織し、江華島事件をきっかけに海外進出を始めた。 | 2. 大陸との交流を完全に断つため、遣唐使を廃止して国風文化を振興し、武士の力による独自の防衛体制を整えた。 | 3. 元（モンゴル）の襲来を警戒し、博多湾の沿岸に石造りの防塁を築いて、全国の御家人を組織した。 | 4. 唐や新羅の侵攻に備え、九州に水城や防人を配置するとともに、都を近江の大津宮へ移して国内の守りを固めた。 |
|---|--|--|--|
- 問12 推古天皇の時代、聖徳太子（厩戸王）らは、従来の氏姓制度のように「家柄」によって地位が決まる世襲の仕組みを改めようとして、そのために導入された「冠位十二階」という制度の主な目的を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 天皇と役人が守るべき政治的な道徳を、十七条の項目にまとめて示すこと。 | 2. 仏教の教えを広めるために、僧侶に十二段階の位を授けること。 | 3. 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用すること。 | 4. 地方の豪族に対して、代々その土地を支配する権利を認めること。 |
|---------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
- 問13 聖徳太子が「十七条の憲法」を制定した目的やその内容についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 武士同士の領地争いを裁くための公平な基準を定め、鎌倉幕府の支配を安定させるため | 2. 唐の法律にならって、全国の土地と人民を国家が直接支配する公地公民の制を確立するため | 3. キリスト教の布教を制限し、有力な大名による貿易の独占を禁止して幕府の権威を高めるため | 4. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、争いを避けて天皇の命令に従う体制を整えるため |
|--|--|---|---|
- 問14 645年に始まった大化の改新では、天皇を中心とする新しい国家体制の構築が目指されました。この改革において、遣隋使や遣唐使として中国に渡り、大陸の進んだ政治制度や法律を学んで帰国した留学生や学問僧が任命された、政治の助言を行う重要な役職の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|--------|
| 1. 防人 | 2. 執権 | 3. 検非違使 | 4. 国博士 |
|-------|-------|---------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 遣隋使を派遣し、中国の王朝と対等な立場での外交を求めた	小野妹子を遣隋使として派遣した際、国書の中で中国（隋）の皇帝に対して対等な立場であることを示そうとしました。これは、中国を中心とした従来の秩序から自立し、独自の国家としての地位を確立しようとする意図がありました。
問2	答え 1 百済	6世紀半ば（538年または552年とされる）に、百済の聖明王から日本の欽明天皇へ仏像や経典が献上されたことが、日本への仏教公伝の始まりです。百済は当時、大陸の文化を日本に伝える重要な窓口となっていました。他の選択肢のうち、高句麗は半島北部、新羅は半島東部に位置していた国であり、渤海はのちに中国東北部で興った国です。
問3	答え 2 隋	聖徳太子は、中国の統一王朝である隋に対して「遣隋使」を派遣しました。それまでの朝鮮半島を通じた交流だけでなく、中国と直接国交を結ぶことで、先進的な仏教文化や政治制度を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指しました。
問4	答え 2 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が鑄造された。	7世紀後半の天武天皇の時代、国家としての体制を強化する一環として富本銭が作られました。これに続く708年には、武蔵国から銅が献上されたことを記念して和同開珎が発行されます。富本銭は主に儀礼用や限られた範囲での使用だったという説もありますが、わが国最初の「銅銭」という位置づけは歴史的に非常に重要です。
問5	答え 2 遣隋使 ― 小野妹子	聖徳太子が推古天皇の摂政として政治を行っていた7世紀初め、中国を統一していた王朝は隋です。太子は、大陸の高度な文化や制度を取り入れるため、607年に小野妹子を使節として派遣しました。鑑真は奈良時代に唐から日本へ渡った高僧であり、時代や背景が異なります。
問6	答え 1 小野妹子	聖徳太子は、中国の「隋」に「遣隋使」を派遣して大陸の優れた文化や政治制度を学ぼうとしました。607年には小野妹子が使節として送られ、隋の皇帝である煬帝に国書を届けました。これ以前の時代のように中国の皇帝に臣下として仕えるのではなく、主権国家として交流を図ろうとした重要な出来事です。
問7	答え 2 朝鮮半島南西部の百済が、高句麗の南下に対抗するため大和政権と交流した。	5世紀ごろの朝鮮半島では、北部に広大な領土を持つ高句麗が南下政策をとっていました。これに対し、南西部にあった百済は大和政権と連携することで勢力の均衡を図ろうとし、その過程で多くの技術や文化を日本へもたらしました。新羅は南東部、伽耶（任那）は南部に位置していました。
問8	答え 1 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため	十七条の憲法は、一般市民に向けた刑法ではなく、朝廷に仕える役人（当時の豪族）の政治的な心得を説いたものです。当時は豪族同士の争いが絶えなかったため、儒教が説く「君臣の義」や「礼」の概念を導入することで、天皇を頂点とした上下関係を明確にし、国家組織としてのまとまりを強化しようとした。このため、和を尊重することや、私心を捨てて公務に励むことなどが強調されています。
問9	答え 4 飛鳥文化	朝鮮半島（百済など）から仏教が伝来し、聖徳太子や蘇我氏の保護を受けて発展した日本最古の仏教文化です。法隆寺の西院伽藍や、広隆寺の弥勒菩薩像などにその特徴を見ることができます。同時期の中国（南北朝・隋）や朝鮮半島の文化の影響を色濃く反映しているのが特徴です。
問10	答え 4 唐や新羅の侵攻に備えて、九州に水城を築き、防人という兵士を配置して国防を強化した	白村江の戦いでの敗北は日本にとって大きな危機であり、中大兄皇子（後の天智天皇）は九州の大宰府周辺に防御用の堤防である水城や朝鮮式山城を築きました。この国防の必要性が、国家の権限を中央に集中させる律令制整備の大きな要因となりました。
問11	答え 4 唐や新羅の侵攻に備え、九州に水城や防人を配置するとともに、都を近江の大津宮へ移して国内の守りを固めた。	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した中大兄皇子（天智天皇）は、日本への報復的な侵攻を強く警戒しました。そのため、九州の太宰府付近に水城（みずぎ）や大野城などの城を築き、東国から徴集した防人（さきもり）を配置して国境の警備を強化しました。また、都を飛鳥から内陸の大津宮（現在の滋賀県）へ移したのも、防衛上の理由が背景にあります。
問12	答え 3 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用すること。	冠位十二階は、それまでの「氏（家柄）」に基づく世襲制の官職登用を改め、個人の能力や手柄を評価して役人を採用するために作られました。これにより、優秀な人材を政府の中枢に集め、天皇を中心とする中央集権的な国家体制を整える狙いがありました。選択肢にある「十七条の項目」は、翌年に制定された「十七条の憲法」の説明です。
問13	答え 4 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、争いを避けて天皇の命令に従う体制を整えるため	当時の政治は有力な豪族たちの連合体のような性格が強く、しばしば対立が起きていました。聖徳太子は、仏教や儒教の思想を背景に「和」の精神や「天皇の命令への服従」を説くことで、豪族を天皇に仕える「役人」へと変貌させ、中央集権的な国家をつくる基盤を固めようとした。
問14	答え 4 国博士	飛鳥時代の海外交流に関する記録によれば、遣隋使や遣唐使に同行して大陸へ渡った人々の中には、長期間滞在して現地の高度な統治システムを学ぶ者がいました。彼らは帰国後、その知識を高く評価されて「国博士（くにのはかせ）」という役職に就き、大化の改新における律令国家建設に向けた理論的な指導者として活躍しました。

- 問1 聖徳太子が小野妹子を隋へ派遣した目的として、当時の日本の政治状況や国づくりの方針を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。
(2015年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 中国の進んだ制度や文化を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権的な国づくりを進めるため | 2. 菅原道真の建議に基づき、危険な渡海を伴う外交を縮小するための事前調査を行うため | 3. 大宝律令を完成させるために、中国の法律の専門家を日本に招く交渉を行うため | 4. 卑弥呼がかつて受けた「親魏倭王」のような称号を隋の皇帝から授かり、国内の統治を安定させるため |
|--|--|---|---|
- 問2 6世紀末に中国を統一した王朝であり、聖徳太子が摂政を務めていた607年に、小野妹子らが使者として派遣された先である王朝名として正しいものを選びなさい。
(2026年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 隋 | 2. 秦 | 3. 宋 | 4. 唐 |
|------|------|------|------|
- 問3 大化の改新を中心となって進めた中大兄皇子は、後に天智天皇として即位し、国内の統治をより強固にするための政策を行いました。その一環として、670年に日本で初めて全国規模で作成された戸籍の名称を選びなさい。
(2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 庚寅年籍 | 2. 大宝律令 | 3. 班田収授法 | 4. 庚午年籍 |
|---------|---------|----------|---------|
- 問4 7世紀、朝鮮半島では唐と新羅が結んで百済や高句麗を滅ぼしました。日本（倭）は百済の復興を支援するために大軍を送りましたが、663年に朝鮮半島西岸の白村江で大敗しました。この「白村江の戦い」において、日本が戦った相手の組み合わせとして正しいものはどれか、選びなさい。
(2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 唐・新羅の連合軍 | 2. 百済・新羅の連合軍 | 3. 唐・高句麗の連合軍 | 4. 新羅・高句麗の連合軍 |
|-------------|--------------|--------------|---------------|
- 問5 現在の奈良県明日香村周辺、当時の政治の中心地に建立された日本最古の本格的寺院について、その建立の背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 蘇我馬子が大陸の技師に学んで建立し、瓦葺きの屋根や五重塔を備えた新しい建築様式を日本に定着させた。 | 2. 聖徳太子が建立した世界最古の木造建築物であり、法隆寺とともに飛鳥文化を象徴する寺院である。 | 3. 鑑真が唐から来日した際に建立され、当時の最新の仏教教義を学ぶための国立の寺院として機能した。 | 4. 平氏が権力を握った時代に、瀬戸内海の海上交通の安全を祈願するために大陸の技術を模して造られた。 |
|--|--|---|--|
- 問6 聖徳太子が行った政治改革のうち、「詔（天皇の命令）を承けては必ず謹め」といった記述が含まれ、仏教を敬うことや官吏（役人）が守るべき道徳を示したものはどれですか。
(2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|---------|-----------|
| 1. 冠位十二階 | 2. 五箇条の御誓文 | 3. 大宝律令 | 4. 十七条の憲法 |
|----------|------------|---------|-----------|
- 問7 万葉集の中に「大王（天皇）は神でいらっしゃるの、水鳥の集まる湿地を立派な都になさった」という趣旨の歌で称えられた天皇について、その統治の背景として最も適切な説明はどれか。
(2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 仏教による国づくりを目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して、東大寺に大仏を造立した。 | 2. 壬申の乱に勝利したことで絶大な権力を握り、天皇を神格化して官僚制の整備や律令の編纂を進めた。 | 3. 冠位十二階を制定することで、家柄にとらわれず才能のある人物を役人として登用する制度を整えた。 | 4. 大化の改新を断行し、蘇我氏を打倒することで、地方の豪族が支配していた土地と民を直接統治する仕組みを作った。 |
|--|---|---|--|
- 問8 7世紀後半、日本（倭）が白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、大宰府を防衛するために築かれた「水城」に関する説明として、最も適切なものはどれですか。なお、水城の構造を示す断面図などの資料によれば、堤防の下には「木樋（もくひ）」と呼ばれる木製の導水路が通っており、大宰府側から博多湾側へと水が流れる仕組みになっていたことがわかっています。
(2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 堤防の内側にあたる大宰府の役所や住宅地へ、博多湾から引き込んだ海水を生活用水として供給するため。 | 2. 大宰府に配備された「防人（さきもり）」が、緊急時に地下を通して博多湾側へ移動するための避難路とするため | 3. 唐と百済の連合軍が博多湾から攻めてきた際に、堤防を意図的に決壊させて敵を押し流すため。 | 4. 堤防の外側にあたる博多湾側に掘られた堀に、内側から水を供給して水位を保ち、敵の侵入を防ぐため。 |
|---|--|--|--|
- 問9 舒明天皇や皇極天皇の流れを汲む天皇家において、中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌足が大化の改新を進めた後の時代に起きた「壬申の乱」の説明として正しいものはどれか。
(2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 天智天皇の弟である大海人皇子が、天皇の息子である大友皇子を倒して実権を握った争い。 | 2. 後白河法皇の後継者問題をめぐり、源氏と平氏が対立して京都で発生した大規模な戦乱。 | 3. 唐・新羅の連合軍に敗北したことをきっかけに、国内の防衛体制を整えるために起きた争い。 | 4. 蘇我氏の独裁的な政治に不満を持った皇族たちが、宮中で蘇我入鹿を暗殺した事件。 |
|--|---|---|---|
- 問10 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に定められた「冠位十二階」の制度について、その目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2019年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 戸籍を作成して人々に土地を割り当て、税の徴収を確実にするため | 2. 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため | 3. 仏教の教えを政治の基本とし、国民全体の道徳を高めるため | 4. 有力な豪族に対し、代々特定の役職に就く特権を認めるため |
|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問11 7世紀後半、律令に基づく中央集権的な国家体制を整える過程で鑄造された、わが国最初の銅銭として正しい名称を選択肢から選びなさい。
(2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 富本銭 | 2. 寛永通宝 | 3. 無文銀銭 | 4. 和同開珎 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問12 大化の改新から始まった中央集権国家への移行は、701年の大宝律令の制定によって一つの完成を見た。この「律令国家」において、政治の基本的な仕組みとして導入された、土地と民衆を国家が直接支配する制度の考え方を何と呼ぶか。
(2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 寄進地系荘園 | 2. 地租改正 | 3. 班田収授 | 4. 公地公民 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問13 7世紀後半、日本（倭国）は朝鮮半島の西南部に位置する地域へ大規模な軍隊を派遣し、唐・新羅の連合軍と衝突しました。この戦いが起こった直接的な目的として、最も適切な説明はどれですか。
(2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 新羅と軍事同盟を結び、半島北部の高句麗を制圧するため | 2. 九州北部を襲撃した刀伊と呼ばれる集団の正体を突き止めるため | 3. 友好関係にあり、当時滅亡していた百済の復興を支援するため | 4. 博多に侵攻してきた元の軍隊を、朝鮮半島の拠点で迎え撃つため |
|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 中国の進んだ制度や文化を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権的な国づくりを進めるため	当時の日本は、豪族が強い勢力を持つ体制から、天皇を中心とした組織的な国家への転換を目指していました。冠位十二階や十七条の憲法の制定と並行して行われた遣隋使の派遣は、中国の官僚制や仏教精神を学ぶことで、強力な国家体制を築くための重要な手段でした。なお、大宝律令は8世紀、遣唐使の停止（菅原道真の建議）は9世紀の出来事であり、卑弥呼は3世紀の人物です。
問2	答え 1 隋	589年に中国を統一した隋に対して、聖徳太子は小野妹子を遣隋使として派遣しました。これは当時の先進的な文化や制度を直接取り入れ、国力を高める目的がありました。遣隋使はその後、隋が滅びて唐が成立するまで数回にわたり派遣されました。
問3	答え 4 庚午年籍	中大兄皇子（天智天皇）は、公地公民の原則に基づき、民衆を直接支配するために日本初の全国的な戸籍である庚午年籍を作成しました。これにより、それまで氏族ごとに管理されていた民衆を国家が把握できるようになり、税の徴収や徴兵の基礎が作られました。これに続く持統天皇の時代の庚寅年籍によって、戸籍制度はさらに定着することになります。
問4	答え 1 唐・新羅の連合軍	660年に唐と新羅の連合軍によって百済が滅ぼされた際、日本は百済の遺民から救援を求められました。中大兄皇子（後の天智天皇）はこれに応じ、朝鮮半島へ大軍を派遣しましたが、白村江（現在の韓国の錦江河口付近）において唐・新羅の圧倒的な水軍の前に敗北を喫しました。これにより百済復興の望みは絶たれることとなりました。
問5	答え 1 蘇我馬子が大陸の技師に学んで建立し、瓦葺きの屋根や五重塔を備えた新しい建築様式を日本に定着させた。	この寺院は、百済（朝鮮半島）などから招かれた瓦職人や寺工といった専門技師たちの指導によって造られました。それまでの古墳築造に代わり、寺院の建立が権力者の新たな権威の象徴となり、日本の建築技術を大きく飛躍させるきっかけとなりました。
問6	答え 4 十七条の憲法	604年に制定された十七条の憲法は、日本最初の成文法としての性格を持っていますが、現代の法律とは異なり、役人が政治を行う上での「心得」を説いたものです。同じく聖徳太子の政策である冠位十二階は「個人の才能を評価する制度」であり、この憲法とあわせて天皇中心の政治を支える基盤となりました。
問7	答え 2 壬申の乱に勝利したことで絶大な権力を握り、天皇を神格化して官僚制の整備や律令の編纂を進めた。	天武天皇は壬申の乱での勝利を通じて、それまでの有力豪族による合議制的な政治から、天皇が絶対的な権力を持つ政治へと転換させました。万葉集の歌は、その強大な権力を「神」と表現して称賛したものです。彼はこの権力に基づき、飛鳥浄御原令の編纂や、のちの平城京へとつながる官僚機構の整備に着手しました。
問8	答え 4 堤防の外側にあたる博多湾側に掘られた堀に、内側から水を供給して水位を保ち、敵の侵入を防ぐため。	白村江の戦いでの敗北を受けた日本は、唐や新羅の軍が九州へ侵攻してくることを強く警戒しました。大宰府の北側に築かれた全長約1.2kmもの巨大な堤防である「水城」には、博多湾側（外側）に水堀が設けられていました。地下を通る「木樋」は、大宰府側（内側）からの水をこの堀へと計画的に流し込み、水位を維持することで、敵が容易に堤防を越えられないようにする防御システムの要でした。選択肢に「百済」が含まれるものは、当時の日本が百済を救援する立場であったため誤りです。
問9	答え 1 天智天皇の弟である大海人皇子が、天皇の息子である大友皇子を倒して実権を握った争い。	壬申の乱は、天智天皇の死後にその弟である大海人皇子と、後継者とされていた息子の大友皇子の間で起きた、古代最大の内乱です。この争いは、天智天皇が進めた近江大津宮での政治に対する地方豪族の不満なども背景にあり、最終的に吉野で挙兵した大海人皇子が勝利しました。これにより、勝利した天武天皇による強力な天皇専制政治が実現することとなりました。
問10	答え 2 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため	それまでの日本の政治では、特定の氏族が代々決まった役職を引き継ぐ「氏姓制度」が中心でしたが、聖徳太子は個人の実力を重視するこの制度を導入しました。これにより、天皇に従順で有能な人材を役人として集め、天皇中心の国づくりを進める狙いがありました。選択肢にある土地の割り当ては、後の「班田収授法」の内容です。
問11	答え 1 富本銭	長らく708年に発行された和同開珎が日本最古の貨幣とされてきましたが、近年の飛鳥池遺跡などの発掘調査により、7世紀後半の天武天皇の時代に「富本銭」が鑄造されていたことが判明しました。これは、当時の政府が唐の制度にならって国家の威信を示し、律令国家としての体裁を整える目的があったと考えられています。
問12	答え 4 公地公民	大化の改新の詔（みことのり）で示された最も重要な方針が、それまで豪族が私有していた土地や民を国家のものとする「公地公民」である。この方針は壬申の乱を経て強化され、大宝律令に基づく戸籍の作成や班田収授法の実施によって具体化された。これにより、国家が民衆から直接税（租・庸・調）を徴収する仕組みが確立した。
問13	答え 3 友好関係にあり、当時滅亡していた百済の復興を支援するため	飛鳥時代の663年、日本は友好国であった百済の復興を助けるために大軍を派遣しましたが、唐・新羅の連合軍に白村江の戦いで大敗しました。この敗北を受け、日本は唐・新羅による本土侵攻を恐れ、大宰府の北側に水城を築いたり、各地に朝鮮式山城を作ったりして防衛体制を急いで整えることとなりました。選択肢にある「元」や「刀伊」は、それぞれ鎌倉時代や平安時代の中期の出来事であり、時代背景が異なります。

- 問1 7世紀初頭、聖徳太子らが進めた国家づくりにおいて、大陸から伝わった仏教が果たした役割とその文化的な特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 遣隋使の派遣などを通じて大陸の優れた技術や思想が伝わり、法隆寺などの本格的な寺院が建立された。 | 2. 大宝律令の制定により全国が統治され、国家の安泰を願って東大寺に大仏が造られた。 | 3. 遣唐使が廃止されたことにより、日本の気候や生活に合わせた独自の貴族文化が発達した。 | 4. 稲作の技術とともに青銅器や鉄器が伝わり、卑弥呼が中国の魏から金印を授かった。 |
|--|--|--|---|
- 問2 飛鳥時代において、朝鮮半島から伝来した新しい宗教である仏教を積極的に受け入れ、聖徳太子（厩戸王）と協力して政治改革を推進した有力豪族を答えなさい。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 蘇我氏 | 2. 藤原氏 | 3. 平氏 | 4. 北条氏 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問3 645年に始まった政治改革において、中大兄皇子らが進めた「天皇を中心とした国づくり」の具体的な内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 土地や人民は豪族が私有するのではなく、すべて国家のものとする公地公民の原則を打ち出した | 2. 実力のある人物を役人に登用するため、冠位十二階の制度をより強化して豪族の特権を認めた | 3. 武士の力を結集して幕府を開き、貴族に代わって武家が政治の主導権を握る仕組みを作った | 4. 地方の豪族に土地の支配権を完全に委ねることで、各地域の農業生産力を向上させた |
|--|---|--|---|
- 問4 奈良県に位置し、聖徳太子によって建立されたと伝えられる寺院で、現存する世界最古の木造建築物として知られる名称を次のの中から選びなさい。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 唐招提寺 | 2. 東大寺 | 3. 法隆寺 | 4. 薬師寺 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問5 7世紀後半、日本が白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、九州北部の防衛を強化するために大宰府の北西に築かれた、全長約1.2kmに及ぶ巨大な土塁と堤防からなる防衛施設を何といいますか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|--------|--------|
| 1. 大仙古墳 | 2. 水城 | 3. 壇ノ浦 | 4. 多賀城 |
|---------|-------|--------|--------|
- 問6 飛鳥時代における歴史的事項を記した年表において、672年に「壬申の乱」が起こったとの記載があります。この乱に勝利し、その後に即位して天皇中心の中央集権体制をさらに進めた人物は誰ですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 後三条天皇 | 2. 天智天皇 | 3. 推古天皇 | 4. 天武天皇 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問7 663年、日本（倭）は百済の復興を助けるために軍を派遣しましたが、唐と新羅の連合軍に白村江の戦いで大敗しました。この敗戦を受けて、当時の天智天皇（中大兄皇子）が行った国内の防衛対策や体制整備として正しいものはどれか、次の説明文から選びなさい。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 朝鮮半島への影響力を維持するため、高句麗と新たな同盟を結び、都を内陸の平安京へ移した。 | 2. 唐や新羅の侵攻に備えるため、九州の沿岸部に防人を配置し、水城などの防衛施設を築いた。 | 3. 大陸の進んだ文化を直接取り入れるため、初めての遣隋使として小野妹子を派遣し、冠位十二階を定めた。 | 4. 仏教の力で国を守るため、全国に国分寺を建立することを命じ、東大寺に大仏を造営した。 |
|--|---|---|--|
- 問8 7世紀後半に起こった壬申の乱について、その出来事背景や結果を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 地方武士の不満が高まったことで発生し、平将門が関東で自ら「新皇」を名乗って朝廷に反旗を翻した。 | 2. 天智天皇の後継者をめぐって起こり、勝利した大海人皇子が天武天皇となって天皇中心の国づくりを進めた。 | 3. 天皇を退位したあとも政治の実権を握ろうとした白河上皇が、藤原氏の摂関政治を抑えるために院政を開始した。 | 4. 仏教勢力の影響を排除し、政治を立て直すために、桓武天皇が都を平城京から平安京へと移した。 |
|--|--|--|---|
- 問9 7世紀初め、推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）は、中国の高度な制度や文化を学ぶために小野妹子らを派遣しました。このとき、小野妹子らが派遣された、南北に分かれていた中国を約300年ぶりに統一した王朝の名前として正しいものを選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 秦 | 2. 唐 | 3. 隋 | 4. 漢 |
|------|------|------|------|
- 問10 推古天皇が聖徳太子を「摂政」に登用して行った政治の説明として、当時の制度や目的をふまえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 武士の力を抑えるために聖徳太子を任命し、地方の反乱を鎮圧するための軍事指揮権を与えた。 | 2. 平城京への遷都を円滑に進めるため、聖徳太子に新しい都の設計と建設の全権を委ねた。 | 3. 日本独自の国風文化を育てるため、聖徳太子に命じて遣隋使の派遣を停止し、大陸との交流を断った。 | 4. 天皇を助けて政治を行う役割として聖徳太子を据え、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を目指した。 |
|--|---|---|---|
- 問11 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が、政治に関わる役人の心構えを説き、天皇の命令には必ず従うべきであることなどを示した法を何といいますか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|----------|----------|
| 1. 十七条の憲法 | 2. 五箇条の御誓文 | 3. 御成敗式目 | 4. 武家諸法度 |
|-----------|------------|----------|----------|
- 問12 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）が制定したとされる、政治を行う役人（官吏）の心得や道徳を示した法規を何といいますか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|----------|---------|
| 1. 十七条の憲法 | 2. 御成敗式目 | 3. 公家諸法度 | 4. 大宝律令 |
|-----------|----------|----------|---------|
- 問13 7世紀初めの日本において、聖徳太子らが「冠位十二階」を定めた背景には、天皇中心の政治を強化しようとする意図がありました。この制度の特徴について述べた文として、正しいものを一つ選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 遣唐使として派遣された留学生の意見を取り入れ、全ての土地と人民を天皇のものとした。 | 2. 役人が職務を行ううえでの心構えを説いたもので、儒教や仏教の考え方が取り入れられた。 | 3. 豪族の身分を固定化し、その子孫が代々高い地位を継承することを保障した。 | 4. 個人の才能に応じて十二段階の冠を授けるもので、冠を授かった者一代限りの位とされた。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 遣隋使の派遣などを通じて大陸の優れた技術や思想が伝わり、法隆寺などの本格的な寺院が建立された。	飛鳥時代には、小野妹子ら遣隋使が派遣され、大陸の高度な文明が積極的に導入されました。これに伴い、寺院建築の技術や彫刻の技法ももたらされ、それまで日本になかった本格的な仏教文化が飛鳥の地を中心に花開きました。他の選択肢にある国風文化は平安時代、大仏建立は奈良時代（天平文化）、卑弥呼は弥生時代の出来事です。
問2	答え 1 蘇我氏	古墳時代末期から飛鳥時代にかけて勢力を伸ばした蘇我氏は、渡来人と結びついて大陸の新しい文化や仏教を積極的に取り入れました。蘇我馬子は聖徳太子と協力し、冠位十二階や十七条の憲法の制定、遣隋使の派遣など、天皇中心の国づくりに尽力しました。
問3	答え 1 土地や人民は豪族が私有するのではなく、すべて国家のものとする公地公民の原則を打ち出した	大化の改新では、当時の中国（唐）の制度を参考に、それまで豪族が個別に支配していた土地や人民を国家が直接管理する「公地公民」の制度を目指しました。これにより、全国的な徴税や戸籍の作成が可能になり、天皇による中央集権体制の基礎が築かれました。
問4	答え 3 法隆寺	飛鳥時代を代表するこの寺院は、斑鳩の地に聖徳太子（厩戸王）によって建てられました。金堂や五重塔などの西院伽藍は、幾度かの再建を経ているものの、世界最古の木造建築群として1993年には日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問5	答え 2 水城	663年の白村江の戦いで大敗した倭（日本）は、唐や新羅が日本列島へ侵攻してくることを強く警戒しました。そのため、天智天皇（中大兄皇子）は九州北部の外交・軍事の拠点であった大宰府を保護するため、福岡平野の最も狭まった場所に巨大な土塁を築き、その外側に水を貯えた「水城」を建設して防衛線を整えました。
問6	答え 4 天武天皇	672年に起こった壬申の乱は、天智天皇の死後にその弟の大海人皇子と、子の大友皇子が皇位をめぐる対立した古代最大の内乱です。この戦いに勝利した大海人皇子が天武天皇として即位しました。天武天皇は、飛鳥浄御原令の編纂に着手したり、国史（古事記・日本書紀）の編纂を命じたりするなど、天皇の権力を絶対的なものにするための政策を次々と打ち出しました。
問7	答え 2 唐や新羅の侵攻に備えるため、九州の沿岸部に防人を配置し、水城などの防衛施設を築いた。	白村江の戦いで大敗した日本は、唐や新羅が日本列島へ攻めてくることを強く警戒しました。そのため、九州の対馬や筑紫に防人（さきもり）と呼ばれる兵士を配備し、北九州に水城（みずき）や山城を築いて防衛を固めました。また、天智天皇は都を飛鳥から内陸近江の大津宮へ移し、国内の支配体制を急いで整えようとしていました。
問8	答え 2 天智天皇の後継者をめぐって起こり、勝利した大海人皇子が天武天皇となって天皇中心の国づくりを進めた。	壬申の乱は、大化の改新から続く律令国家形成の過程で発生した極めて重要な内乱です。勝利した天武天皇は、それまでの豪族中心の政治から、天皇に権力を集中させる政治体制へと移行させ、後の大宝律令の完成へとつながる基礎を固めました。他の選択肢は、8世紀末から11世紀にかけての異なる時代の出来事です。
問9	答え 3 隋	聖徳太子は、中国の統一王朝である隋に対して「遣隋使」を派遣しました。それまでの朝鮮半島を通じた交流だけでなく、中国と直接国交を結ぶことで、先進的な仏教文化や政治制度を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指しました。
問10	答え 4 天皇を助けて政治を行う役割として聖徳太子を据え、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を目指した。	推古天皇の時代、有力豪族である蘇我氏の影響力が強い中で、天皇は聖徳太子を摂政に任命することで、血縁や家柄に依存しない官僚制（冠位十二階）などの導入を図りました。これは、特定の豪族に権力が集中するのを防ぎ、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を築くことが目的でした。
問11	答え 1 十七条の憲法	聖徳太子が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に制定されました。役人に対して道徳的な訓戒を与え、天皇を中心とした国家体制（中央集権国家）を築くことを目的としています。仏教や儒教の教えが取り入れられている点も大きな特徴です。
問12	答え 1 十七条の憲法	聖徳太子が定めた官吏の心得は十七条の憲法です。和の精神や仏教の尊重、天皇の命令に従うことなどが示されています。大宝律令は飛鳥時代後半に制定された本格的な律令であり、御成敗式目は鎌倉時代に武士のために作られた法規となります。
問13	答え 4 個人の才能に応じて十二段階の冠を授けるもので、冠を授かった者一代限りの位とされた。	冠位十二階は、功績があった本人に位（冠）を与える制度であり、その地位は子孫に引き継がれる「世襲」ではありませんでした。家柄に関係なく、実力のある人物を役人として引き立てるこの仕組みは、当時の中国（隋）の制度も参考にされています。また、役人の心構えを説いたものは、同時期に制定された「十七条の憲法」です。